

## 編集室

## 意外とおもしろい! New England Journal of Medicine (NEJM) を読み飛ばす

言わずとしれた臨床医学最高の学術雑誌 NEJM。難しいことが書いてあると思われがちですが、それは、専門領域を細かく読むからです(かつての自分もそうでした)。今はInternet版を購読して分野を問わず読み飛ばしています。そうしてみると、この雑誌、まあ「へ〜」っていう話題に満ちています。まさにトリビアの泉です。それでは早速2012年に発表されたものを中心に、本当にあった(掲載されていた)こわい(?)話を週刊誌的興味でお届けします。

まず、インパクト満点の最近の話題は、「便秘移植」でしょう(2013;368:407)。難治性クロストリジウム・ディフィシル腸炎でのトライアル報告。自らの便を洗い流し、健康な人から採取した便(!)をマーゲンチューブで(つまり口から)「移植」するのです。腸内細菌叢の移植です。効果は絶大であったようです。

地中海式食事とか、コーヒーの効果とか、まあ、正直、素人さんの話題かと思っていました。ところが、しっかりエビデンスです。1週間に1リットルのエキストラバージンオリーブオイルや1週間に30gのナッツ類を支給された地中海組は(各々2,000人余り)、何も支給されなかった非地中海組より有意に心血管疾患が少なかった(2013;368:1279)。意外にも、コーヒー消費量が多いほど観察期間中(14年!)の死亡率が低いという結果が出ています(2012;366:1891)。癌との関連はありませんでした。

アグレッシブなところでは、人間の脳に電極を埋め込み刺激を送ると記憶が増強した、というSFみたいな報告があります(2012;366:502)。甲状腺機能低下の母親から生まれた子どもはIQが低いかどうか、なんて、つっこんだ研究も(2012;366:493)。差があったら大変だったと思うのですが結果はnegativeでした。

HIV事情。時代はもう「予防」です。ほとんどアフリカ各国での臨床研究。予防薬は「有効」(2012;367:399, 2012;367:423)、そして「無効」(2012;367:411)と相反する結果が並んで報告されています。ただ、無効の原因は、被験者が薬を飲んだ、と報告しているが実は飲んでいな

いこと、みたいです。いずれの報告もアフリカにおけるあちら系の事情がすけてみえて、面白い深いです。例えば、前者の研究で対象になったのは片方のみがHIVに感染している4,758カップル(!)。実薬かプラセボの二重盲検試験。HIV感染があまりに普通なアフリカの状況、そしてイチカバチかみたいな研究デザインにまず驚きます。しかし意外だったのは、カップル間でも相手が感染するのは100人中5人以下なんですね。で、予防薬はそれを1/3程度に減らすというものでした。

最後に、米国の格差社会の怖さを伝える研究を。まず、病院外で起こった心肺停止で、その場で隣人が蘇生を始めてくれるかどうか(!)を地域で比べた(2012;367:1607)。エリアは分かりやすく high income のWエリアとか low income のBエリアとかに区分されます。WとBが何を意味するか、すぐお分かりでしょう。Low income のBと high income のWで蘇生開始率は2倍も差がありました。ちなみに生存率はシアトルで16%なのに対して、デトロイトではわずか0.2%だと。もう一つ。High poverty と low poverty のエリアの比較(2011;365:1509)。Povertyは普通に辞書をひくと、あっさり「貧乏」って出てきます。High poverty(つまり貧乏)エリアの人々に、家賃補助券(パウチャー)を与え、low poverty(つまり金持ち)のエリアに引っ越しさせた場合、肥満や糖尿病の発症率が変わるかどうかを調べた。おそろしいことに約10年の後、金持ちエリアに引っ越した方が高度肥満や糖尿病の発症率が低いことが明らかになりました…。しかし、このようなデータ、よく考えたら誰か何のために使うのでしょうか。おそらく日本医師会がおそれるTPPの黒幕、米国保険業界ですかね。あらゆるリスクを金に換える、というのが彼らの生業の本質である、とするなら人の生死の正確なオッズは彼らにとって大切なデータに違いありません。

追伸: 広島市医師会がやっている心筋梗塞予報。天気図や気温のデータと組み合わせれば、NEJMネタになるんじゃないか、と思うのですが…特に気圧と病気の関係は誰も調べていない…?  
(小園 亮次)

## 広島県医師会速報 2013年(平成25年)5月15日

- 発行所/社団法人 広島県医師会 〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL 082-232-7211 FAX 082-293-3363  
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail: [kouhou@hiroshima.med.or.jp](mailto:kouhou@hiroshima.med.or.jp)
- 編集者/広島県医師会会長 平松 恵一  
(広報委員) 生田 隆穂、豊田 神敬、小園 亮次、佐々木 龍司、豊田 章宏、中尾 三和子、奈良井 章人  
林谷 道子、檜山 桂子、茗荷 浩志、吉田 良順、小笠原 英敬、水野 正晴、岩崎 泰政
- 印刷所/レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL 082-844-7500 FAX 082-844-7800